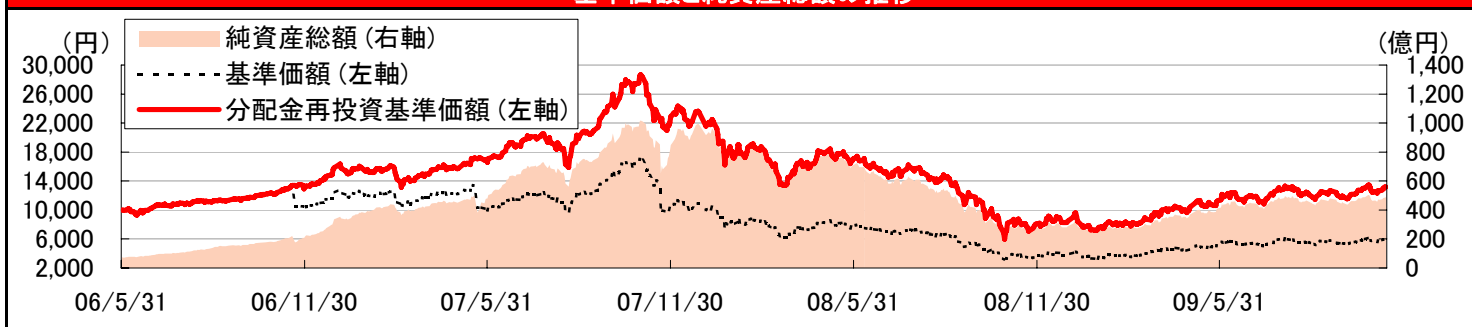


HSBC 中国株式ファンド(3ヶ月決算型)

追加型投信/海外/株式

基準価額と純資産総額の推移



* 基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金の金額は、運用状況によって変化します。

商品概要

商品分類	追加型投信/海外/株式
設定日	2006年5月31日
信託期間	無期限
決算日	原則、2月、5月、8月、11月の各20日/年4回決算

基準価額等 (2009年11月13日現在)

1万口当たり基準価額(円)	6,004
設定来高値(2007年10月31日)	17,144
設定来安値(2008年10月28日)	2,739
純資産総額(億円)	485.6

*基準価額は信託報酬控除後のものです。

税引前分配金の推移(1万口当たり)

決算期	分配金(円)	決算期	分配金(円)
第1期(06年8月21日)	80	第9期(08年8月20日)	30
第2期(06年11月20日)	2,800	第10期(08年11月20日)	10
第3期(07年2月20日)	80	第11期(09年2月20日)	0
第4期(07年5月21日)	3,000	第12期(09年5月20日)	0
第5期(07年8月20日)	80	第13期(09年8月20日)	0
第6期(07年11月20日)	3,000	-	-
第7期(08年2月20日)	30	-	-
第8期(08年5月20日)	30	-	-
		設定来累計	9,140

*将来の分配金の金額は、運用状況によって変化します。

期間別騰落率(税引前)

期間	騰落率
前週末比	3.9%
1ヶ月	7.9%
3ヶ月	3.2%
6ヶ月	23.5%
12ヶ月	60.6%
36ヶ月	2.0%
設定来	31.6%

*基準価額の騰落率は税引前分配金を再投資したものと計算しています。騰落率の計算期間は、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月、36ヶ月前の応答日(応答日が休業日の場合はその前営業日)から基準日までの期間としています。

信託財産の構成※1 (2009年11月13日現在)

市場	比率	その他市場	比率
香港市場	95.2%	その他市場	1.6%
上海市場	0.0%	キャッシュ等	2.8%
深セン市場	0.4%	合計	100.0%

※1 マザーファンドの組入比率です。表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

組入上位銘柄と対純資産組入比率※2 (2009年11月13日現在)

順位	銘柄名	業種	比率
1	中国建設銀行 (CHINA CONSTRUCTION BANK)	銀行	9.1%
2	中国人寿保険 (CHINA LIFE INSURANCE)	保険	7.4%
3	中国工商銀行 (IND&COMM BK OF CHINA)	銀行	7.2%
4	中国銀行 (BANK OF CHINA)	銀行	7.1%
5	中国石油天然気 (PETROCHINA)	エネルギー	6.2%
6	中国海洋石油 (CNOOC)	エネルギー	4.4%
7	神華能源 (CHINA SHENHUA ENERGY)	石油・石炭	3.9%
8	九龍紙業 (NINE DRAGONS PAPER)	木材、紙・パルプ	3.6%
9	騰訊控股 (TENCENT HOLDINGS)	コンピュータ	3.6%
10	中国移动 (CHINA MOBILE)	通信	3.4%
11	東風汽車集団 (DONGFENG MOTOR GROUP)	自動車	2.6%
12	平安保険 (PING AN INSURANCE)	保険	2.1%
13	中国石油化工 (CHINA PETROLEUM & CHEMICAL)	エネルギー	2.0%
14	江西銅業 (JIANGXI COPPER)	非鉄金属	1.8%
15	中国雨潤食品 (CHINA YURUN FOOD GROUP)	食品・日用品	1.8%
組入銘柄数			54

※2 マザーファンドの組入比率です。

設定・運用: HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC



Global Asset Management

HSBC 中国株式ファンド(3ヶ月決算型)

追加型投信/海外/株式

<ご参考>参考指標(日次)、為替(週次)の推移(設定日(2006年5月31日)~2009年11月13日)

参考指標(円ベース)*の推移



* MSCIチャイナフリーインデックスを参考指標として使用しております。なお、当該指標は当ファンドのベンチマークではありません。設定日を100として指数化しております。

為替の推移(香港ドル/円)



出所:投資信託協会

マーケットコメント

今週の中国株式市場は、香港市場上場のH株指数、レッドチップ指数がそれぞれ前週末比+3.4%、同+1.1%と続伸しました。13日(金)、当局は個人投資家の外貨取引上限を1日5,000米ドルに引き上げると発表、本土投資家からの資金流入拡大を見越し、海外から大量の資金が市場に流入、上海、深圳ともB株市場はそれぞれ前営業日比+9.4%、同+7.9%と急騰しました。また人民銀行が第3四半期通貨政策執行報告で人民元為替レート形成メカニズムを改善すると発表、実質的なドルペッグ制変更の可能性を示唆し、人民元切り上げ観測が浮上したことも背景の一つと見られます。これらの動きは「香港直通列車」(=本土の個人投資家による香港株式直接投資)の解禁実現への期待を高めるものと見られます。セクター別では、航空が買われました。国家発展改革委員会と民航局が国内線の燃料サーチャージ料金を燃料価格と連動させると発表、これが材料視された模様です。

11日(水)に発表された10月の主要経済指標は、内需の堅調に支えられ中国の景気回復ペースが加速していることを改めて裏付けるものとなりました。工業生産は9月の前年同月比+13.9%から同+16.1%と加速、世界金融危機前の水準に近い伸び率を記録しました。これは1-10月の都市部固定資産投資が前年同期比+33.1%と引き続き堅調となったことや、10月の国内新車販売台数(商用車を含む)が前年同月比+72.5%と大幅に拡大し生産活動が活発化したことが主因と見られます。小売売上高は9月の前年同月比+15.5%から同+16.2%へと伸び率が拡大しました。これは耐久消費財の販売が好調であったことや、今年の国慶節連休期間(10月1-8日)が昨年より1日多かったことなどが影響した模様です。輸出は9月の前年同月比-15.2%から同-13.8%とマイナス幅が縮小、輸入は前年同月比-3.5%から同-6.4%となった結果、10月の貿易黒字は9月の129億米ドルから240億米ドルへと拡大しました。一方、10月の人民元建新規貸出額は、四半期末の融資実績評価を控え、金融機関が9月に積極的に貸し出しを増やした反動などもあり、9月の5,167億元(約6.8兆円)から2,530億元(約3.4兆円)へと鈍化しました。10月の消費者物価指数(CPI)及び生産者物価指数(PPI)は、それぞれ前年同月比-0.5%、同-5.8%とマイナス幅が縮小しました。CPIはベース効果の剥落もあり、11月にはプラスに転じる公算が大きいと見られます。景気回復は確固としたものになりつつありますが、市場関係者の間では、利上げは早くても来年第2四半期以降との見方が大勢です。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

当ファンドの特色



中国(香港を含む)の証券取引所に上場している株式に投資

HSBC チャイナ マザーファンド(「マザーファンド」といいます。)への投資を通じ、主として中華人民共和国(「中国」といいます。)の証券取引所に上場する株式を投資対象とします(その他の取引所または、取引所に準ずる市場で取引されている企業の株式も投資対象とすることがあります。)

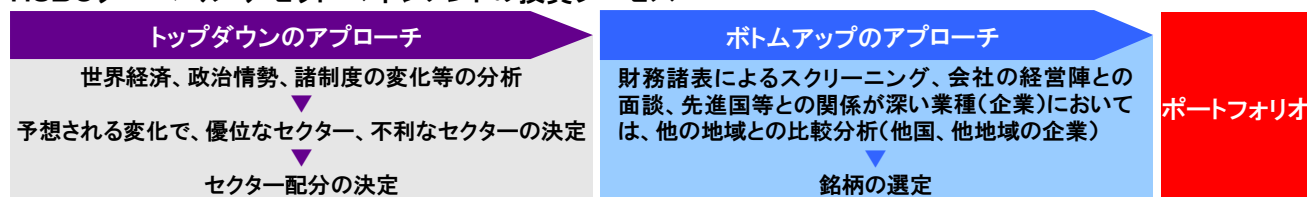
新興市場の有価証券は一般的に先進国の有価証券と比較して値動きが大きいため、基準価額の値動きも大きくなる傾向があります。



景気サイクルの分析(トップダウン)と企業分析(ボトムアップ)を併用した投資プロセス

株価は企業の業績やマクロ経済の動向等様々な要因で変動します。そのため、HSBC投信が属するHSBCグローバル・アセット・マネジメントでは1つの投資決定方法に偏ることなく、景気サイクル等の分析(トップダウン)と徹底した企業分析(ボトムアップ)を併用しています。

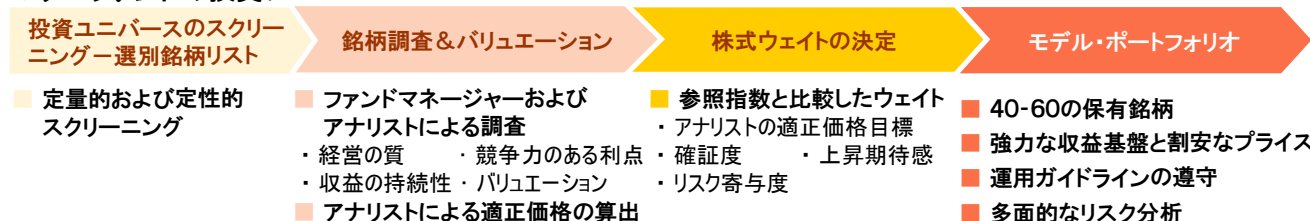
HSBCグローバル・アセット・マネジメントの投資プロセス



運用はHalbis キャピタル・マネジメント(ホンコン)リミテッドが行います

- ▶ 運用は香港において中国株式市場に密着した体制を敷いて行います。運用委託契約に基づいて、Halbis キャピタル・マネジメント(ホンコン)リミテッドにマザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。
- ▶ Halbis キャピタル・マネジメント(ホンコン)リミテッドは、HSBCグループの一員です。

マザーファンドの投資プロセス



〈投資プロセスの主要分析要因〉



3ヶ月毎に決算を行い、分配を行う予定です

年4回の決算時(2月、5月、8月、11月の各20日、休業日の場合は翌営業日)に、主に配当等収益から分配を行うことをめざします。また、5月、11月の決算時は配当等収益に加え、売買益(評価損益を含む。)等からも委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。



原則として為替ヘッジは行いません

外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

為替レートの変動により基準価額は変動します。投資対象資産の通貨に対し円高になった場合、基準価額が下落する要因となります。



ファミリーファンド方式で運用

ファミリーファンド方式とは受益者の投資資金をベビーファンド(当ファンド)としてまとめ、その資金を主としてマザーファンドに投資することにより、実質的な運用を行う方式です(ベビーファンドがマザーファンドに投資する際のコストはかかりません。)

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

当ファンドの主なリスク

当ファンドは実質的に外国株式を投資対象としています。当ファンドの基準価額は、実質的な組入株式の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。以下は、当ファンド（マザーファンドを含みます。）に関する投資リスク（基準価額に影響を及ぼすリスク）の一部要約であり、すべてのリスクを網羅するものではありません。当ファンドのリスクの詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

1 株価変動リスク

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、これが繰り返される傾向にあります。現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。

2 信用リスク

株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。

3 為替変動リスク

外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。

4 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。

5 カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。

当ファンドのお申込みに関しては、上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身でなさいますようお願い申し上げます。

留意点

当資料はHSBC投信株式会社が作成した販売用資料（販売会社固有情報部分を除きます。当該情報の詳細については販売会社にお問い合わせください。）です。当資料は信頼に足ると判断する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり今後変更されることがあります。またデータ等は過去の実績を示したものであり将来の成果を示唆するものではありません。投資信託はリスクを含む商品であり、株式、公社債および投資信託証券等値動きのある証券（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は組入有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがって元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果（損益）は全て投資家の皆様に帰属します。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。取得申込に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面を必ずお受け取りの上、内容をご確認いただきご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社 HSBC投信株式会社	投資顧問会社 Halbis キャピタル・マネジメント(ホンコン)リミテッド
当ファンドの委託会社として、信託財産の運用指図等を行います。	委託会社よりマザーファンドの運用指図に関する権限の委託を受けて投資判断、発注を行います。
受託会社 中央三井アセット信託銀行株式会社 (再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)	販売会社*
当ファンドの受託会社として、信託財産の保管、管理、計算、その他の付随業務等を行います。	当ファンドの販売会社として、募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資に関する事務、収益分配金、一部解約金および償還金の支払等を行います。

*販売会社固有情報（金融商品取引業者（登録番号）、加入協会等）については、当資料内「お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求は「」をご覧ください。販売会社は、投資信託説明書(交付目論見書)の提供場所になります。

照会先

HSBC投信株式会社

電話番号 03-3548-5690

ホームページ www.assetmanagement.hsbc.com/jp

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

HSBC 中国株式ファンド(3ヶ月決算型)

追加型投信/海外/株式

お申込みに関する要項

お申込メモ

信託期間	無期限(設定日:平成18年5月31日) なお、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等は、信託を終了させる場合があります。
申込単位	販売会社が個別に定める単位とします。 「一般コース」と「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。 申込単位、取扱いコースの有無および各コースの名称は販売会社によって異なります。
申込価額	取得申込受付日の翌営業日の基準価額
決算および収益分配	年4回の決算時(2月、5月、8月、11月の各20日、休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。
解約単位	販売会社が個別に定める単位とします。
解約価額	解約申込受付日の翌営業日の基準価額
解約代金支払日	解約申込受付日から起算して5営業日目以降
課税関係	原則として、収益分配金ならびに、解約時および償還時の譲渡益(法人の場合は異なります。)に対して課税されます。 なお、課税区分は株式投資信託です。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 (税法等が改正された場合には、内容が変更になることがあります。)
申込受付不可日	国内の営業日であっても、香港の証券取引所が休場日の場合には取得および解約の申込受付は行いません。
申込受付時間	午後3時(わが国の金融商品取引所が半日立会いの場合には、午前11時)までとします。受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日の取扱いとなります。ただし、受付時間は販売会社によって異なる場合があります。

当ファンドにかかる費用

申込時に直接ご負担いただく費用

申込手数料	申込価額に3.15%(税抜3.0%)を上限として、販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額
-------	---

換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額	ありません。
換金手数料	ありません。

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬	純資産総額に対して年1.869%(税抜年1.78%)を乗じて得た額
その他費用	(1)有価証券売買委託手数料/外貨建資産の保管費用/借入金利息、融資枠設定に要する費用/信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用、受託会社が立替えた立替金利息等 (2)投資信託振替制度に係る手数料および費用/法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用/当ファンドの受益者に対して行う公告に係る費用/法定書面の作成、印刷、交付に係る費用/監査報酬および法律顧問、税務顧問に対する報酬および費用等((2)の項目については純資産総額に対し上限年0.2%としてファンドより支払われます。) (その他費用の上限額については、事後的に発生するものがあるため表記できません。)

※費用総額については、事後的に発生するものがあること、また運用状況等により変動するため表記できません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

設定・運用:HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号 加入協会/(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

